

六日町商工会員各位

六日町商工会景況調査報告書(H29.10～12)

組織番号 0 6 3

商工会名 六日町商工会

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 六日町商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 50 事業所 (うち小規模事業者数 50 事業所)
ウ 回答企業数 45 事業所 (うち小規模事業者数 45 事業所)
(回答率 90.0%)

(2) 調査対象期間

平成29年10月～平成29年12月
(調査時点 平成29年12月31日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	10	20.0%	9	20.0%
建設業	9	18.0%	8	17.8%
卸・小売業	11	22.0%	11	24.4%
サービス業	20	40.0%	17	37.8%
合計	50	100.0%	45	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内景況のコメントする

全般的に「不変」「悪化」が多数を占めている。現状維持からの脱却が当地区の課題である。

【後継者の状況】

後継者状況をコメントする

3分の2の事業所が後継者がいない状況である。事業承継が課題となっている。

後継者 あり	16事業所	35.6%
後継者 なし	29事業所	64.4%

【売上高】

地区内事業者の売上に関するコメントする

前年同期比11ポイント減少、前期比±0%、今後の見通し34ポイント減少。前期比では売上高の増減ポイントは不変であったが、今後の見通しでは売上増加と考えている事業所は6事業所しかなく、今後も厳しい見方をしている。

前年同期比

増加	不変	減少
15	9	20

前期比

増加	不変	減少
17	10	17

今後の見通し

増加	不変	減少
6	17	21

【採算】

地区内事業者の採算性についてコメントする

前年同期比25ポイント減少、前期比5ポイント減少、今後の見通しは36ポイント減少。今後の見通しの中では約半数の21事業所が悪化するとの回答、今後好転と予想する事業所が全体の11%で、厳しい捉え方をしている。

前年同期比

好転	不変	悪化
8	17	19

前期比

好転	不変	悪化
9	17	11

今後の見通し

好転	不変	悪化
5	18	21

【仕入単価】

地区内事業者の仕入状況をコメントする

前年同期比30ポイント増加、前期比25ポイント増加、今後の見通しは19ポイント増加。今後も仕入単価の上昇を予想する事業所が多い。

前年同期比

上昇	不変	低下
15	27	2

前期比

上昇	不変	低下
12	26	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
13	25	5

【販売（客）単価】

地区内事業者の客単価等をコメントする

前年同期比12ポイント減少、前期比12ポイント減少、今後の見通しは10ポイント減少。販売単価が不変の事業所は7割程度であるが、一部の事業所は販売単価の低下を余儀なくしている。

前年同期比

上昇	不変	低下
4	30	9

前期比

上昇	不変	低下
2	33	7

今後の見通し

上昇	不変	低下
4	30	8

【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする。
前年同期比14ポイント減少、前期比16ポイント減少、今後の見通し14ポイント減少。全体の7割程度は資金繰りについて不変と考えているが、約2割の事業所は資金繰りが悪化しており、今後も悪化する見方をしている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
4	30	10	3	31	10	4	30	10

【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする
前年同期比7ポイント減少、前期比2ポイント減少、今後の見通しは1ポイント減少。大多数が不変と回答しており、多少の増減はあるものの、今後も現状推移していくものと考えられる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
3	36	6	1	38	2	3	33	8

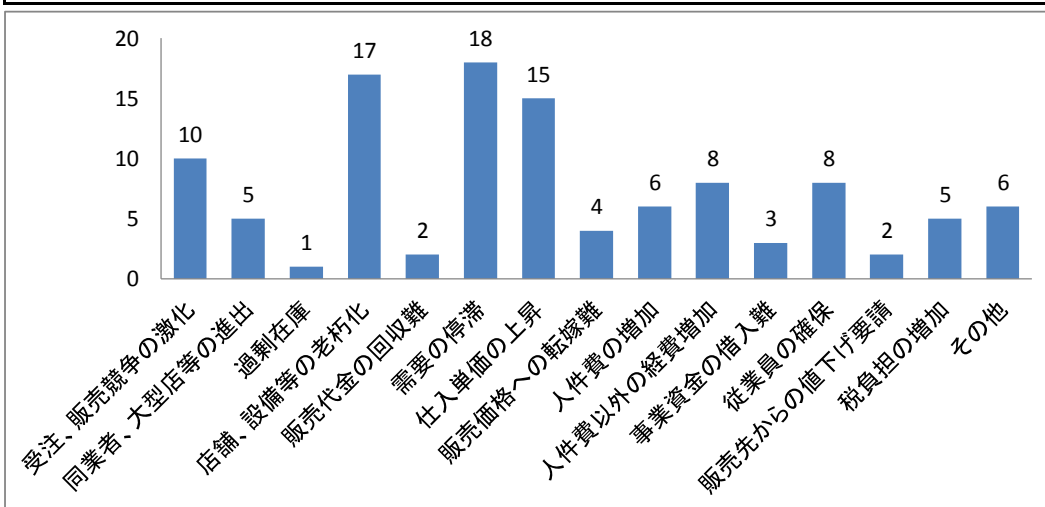
【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする
前年同期比20ポイント減少、前期比19ポイント減少、今後の見通し14ポイント減少。約6割が不変と回答しているが、4分の1の事業所が今後の景況感は厳しい見方をしている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
5	25	14	6	23	14	5	27	11

【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする
「需要の停滞」「店舗・施設の老朽化」「仕入単価の上昇」が多数を占めている。景況感が良くないため、設備の更新が出来ない事業所も多い。また、「受注競争販売の激化」を経営上の問題点としてあげているところも多い。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

- ・前年同期比
採算が44ポイント低下、仕入単価が44ポイント上昇、資金繰りが56ポイント低下
- ・前期比
売上が33ポイント増加
- ・今後の見通し
売上が44ポイント低下、景況13ポイント増加
前期比では売上のポイントが増加しているが、見通しとしては売上の低下を予想している事業所が多い。景況の見通しが13ポイント増加しており、良くなると予想している事業所もある。なお、経営課題として、「店舗・設備の老朽化」を課題としている事業所が4事業所あった。

(2) 建設業

- ・前年同期比
売上が29ポイント増加、販売単価が33ポイント低下。
- ・前期比
売上が38ポイント増加。
- ・今後の見通し
売上が38ポイント低下、販売単価が33ポイント低下。
売上は前年同期比、前期比とポイント数が増加しているが、今後の見通しではポイント数が低下している。受注件数が少ないため、今後売上の減少が予想されるものと思われる。また、販売単価の低下が売上減少を招く恐れもある。なお、経営課題として受注・販売競争の激化を課題としている事業所が5事業所あった。

(3) 卸・小売業

- ・前年同期比
採算が55ポイント低下、景況が45ポイント低下。
- ・前期比
販売単価・景況が40ポイント低下。
- ・今後の見通し
景況が30ポイント低下、採算が40ポイント低下。
卸・小売業では全般的に前年・前期よりも悪化しており、今後も悪化するものと予想している事業所が多い。特に採算・景況のポイント数低下が際立っている。
経営課題として、「店舗・設備等の老朽化」及び「需要の停滞」を課題としている事業所が5事業所あった。

(4) サービス業

- ・前年同期比
売上が35ポイント低下、仕入単価が44ポイント上昇。
- ・前期比
仕入単価が46ポイント上昇、景況が24ポイント低下。
- ・今後の見通し
売上が29ポイント低下、採算が35ポイント低下。
売上の低下及び仕入単価の上昇と厳しい見方をしてしている事業所が多い。今後の見通しも採算性が悪化すると考えている事業所が多いことから、今後についても厳しい状況が続くものと考えられる。なお、経営課題として「仕入単価の上昇」を課題としている事業所が9事業所あり、数字に表れている。